



ダメ! ゼッタイ!



11月16日(月)に薬物乱用防止教室を開催しました。天草本渡ライオンズクラブから9名来ていただき、寸劇を交えて薬物の恐ろしさを伝えていただきました。思い出してみましょう。何がダメか、わかりますか？

<p>シーン① スカウトされた、高校生が「これ飲んだら1週間で簡単に痩せられるよ」と、痩せられるサプリメントをもらった</p> 	<p>シーン② 疲れて元気がないときに、地元の先輩からのアドバイス「眠れないなら病院で睡眠薬ばもらって、いっぱい飲めばよかとよ」</p> 	<p>シーン③ 勉強不振で悩んでいるときに、夜の街で知らない人から「気分がスカッとする薬」をもらった</p> 
---	---	--



寸劇から、大切なことは、①知らない人から薬はもらわない、②薬は、用法・用量を守って正しく使う、③薬物は持っているだけでも犯罪になる。ということでしたね。薬物は一度使ってしまうと、取り返しがつきません。皆さんは今、心と身体が大きく成長しているときです。うまくいかないことがあっても、自分で自分を諦めないことが大切です。悩みは信頼できる大人(家族や先生など)に相談しましょう。正しい知識を持ち、正しい判断ができる人になってください。

感想

- 僕は3つの劇を見て、薬物を誘われたときに断る勇気を身につけ、薬物のことをもっと詳しく知りたいなと思いました。(1年Sくん)
- 薬物を乱用してはいけないと分かっているけど、誰かにだまされたりして、つい薬物を乱用してしまうことが分かりました。薬物乱用を防ぐためにも、その情報が正確であるのかをしっかりと判断し、薬物を乱用しないようにしたいです。また、「薬物に手を出してはいけない」ということを伝えられる立場になりたいです。(2年Kさん)
- 薬物を一回しただけで脳の細胞が壊れることを知って、薬物の恐ろしさを改めて知ることができました。これから生きていく中で、きついと思う時や壁に当たることがあると思います。その時は薬物などに手を出さずに、自分の力で乗り越えたいです。(3年Hくん)

薬物乱用防止啓発標語

- 薬物に 手を出さないで 断る勇気 (2年Tくん)
- 守ろうよ 自分の人生 大切な人 (3年Rさん)

全員の標語は、保健室前掲示板に掲示する予定です。